

古墳の形からの考察

群馬県立中央中等教育学校 1年 森和奏

1. テーマを決めた理由

小学校の社会科の古墳時代の学習では、古墳といえば鍵穴型の前方後円墳が主に登場していた。他にはどのような形の古墳があるのだろうかと思っていたところ、東国

図1 東国文化副読本



文化副読本（図1）に出会い、9つもの種類の古墳があることを知った。なぜ人を葬るための古墳にこんなにもたくさんの種類が作られたのか、不思議に思って調べてみようと思った。まず市内にあるかみつけの里博物館（図2）に行ってみることにした。そこにはまさに、私の疑問の答えが書いてあった。それが図3である。たくさんの古墳がある理由は、葬られた王の力の強さによって、形が変わるため、ということだ。ちなみに、前方後円墳が一番格が高いようだ。

図2 かみつけの里博物館



図3 古墳の階級

確かに手の込んだ作りに見えるし、一番作るのが大変そうなのでその通りなのだろう。しかし理由はそれだけなのだろうか。私は、作られた時期や場所にも関係しているのではないかと考え、このことについて調べることにした。

2. 私の仮説

研究1：古墳の形は、作られた時期によって法則性があるのではないかと。

研究2：古墳の形は地域や地形（特に川や道）に影響を受けているのではないかと。

3. 研究1の進め方

①東国文化副読本（図1）の古墳一覧（70～72ページ）・群馬古墳マップ（62・63ページ）で、紹介されている群馬の古墳を、古墳の形別に分類する。

②①で調べた全ての古墳について形ごとに、作られた時期を表（添付資料1）にまとめる。

③②の表をもとに古墳の種類を横軸にしたグラフと、年代を横軸にしたグラフにまとめなおす。

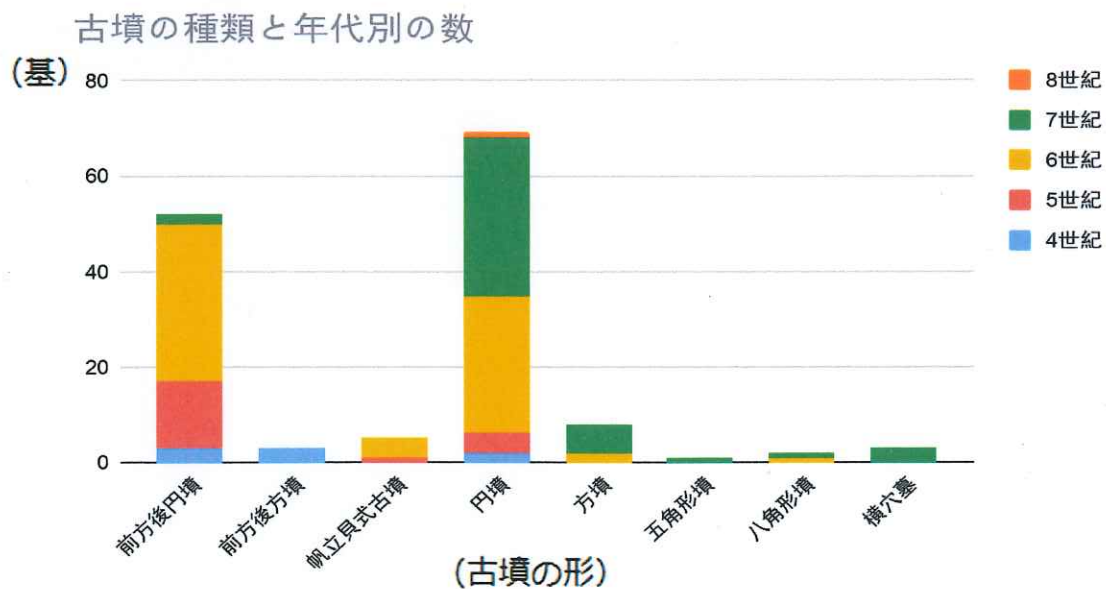
（②で〇〇世紀前半などと示したものは、世紀のみで分類してまとめることにする。）

④同じ種類の古墳の中で、作られた時期による共通点があるか、考察する。

4. 研究1の結果

古墳の形と作成時期【添付資料1】をもとに、古墳の種類と年代別の数、年代別の古墳の種類を【グラフ1】、【グラフ2】に表してみると、面白いことが見えてきた。

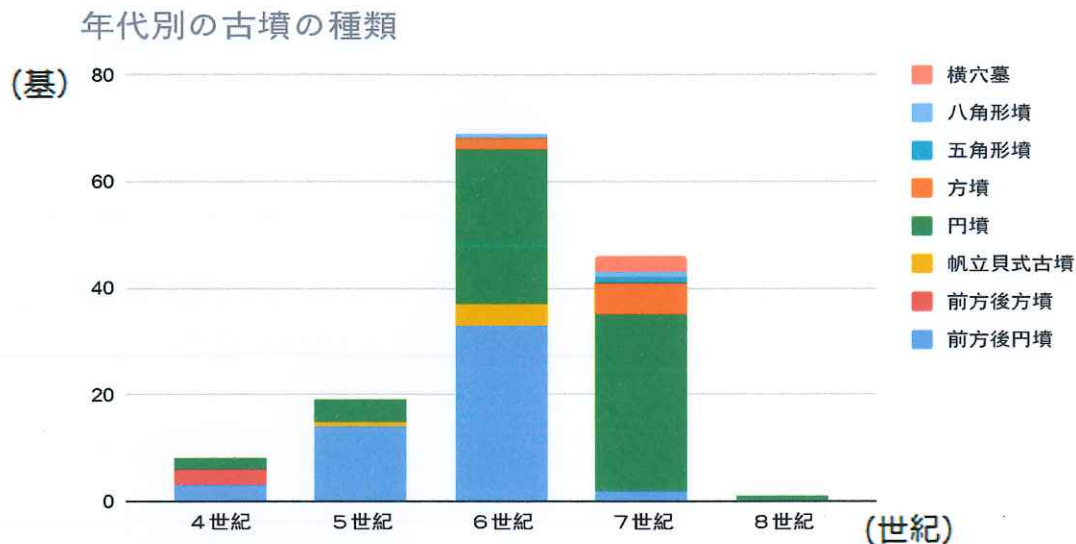
【グラフ1】



グラフ1から群馬の古墳のほとんどが前方後円墳と円墳で占められ、全国で見られるように円墳が一番多いことがわかった。（全国では、前方後円墳が4800～5200基・円墳が14.4万基見つかっているという。〈Wikipediaと和楽より〉）6世紀は前方後

円墳全盛期で7世紀には急速に数が少なくなっていき、古墳のほとんどが円墳に集約されているのが分かる。

【グラフ2】



グラフ2からまず群馬で古墳が一番作られていた時期は6・7世紀だということが分かる。不思議なのが、(ア) 前方後円墳が6世紀から7世紀にかけて一気に減ったこと、(イ) 円墳が5世紀から6世紀にかけて、急激に増えたことだ。また、(ウ) 7世紀には50基近く見つかった古墳が、8世紀には1基しか見つからないところも興味深い。他には前方後方墳は4世紀のものしか見つからないらしいことも分かった。

5. 研究1の結果から考えたこと

グラフを見て、気になった点がいくつかあったので、その時期の時代背景と比べてみることにした。まず、(ア) について考えてみると、6世紀から7世紀の間では、地方首長の統治下でも仏教の導入が進行し、前方後円墳と結びついていた首長祭祀は以後氏寺（仏教の寺院）における仏教儀礼が担うようになった時期だったため、前方後円墳が一気にすたれていってしまったようだ。次に(イ) だが、5世紀から6世紀の、情報を見つけることができず、円墳が増えた理由は分からなかった。最後

に（ウ）だが、645年の大化の改新とともに、薄葬令により、古墳を作ることが制限され、更に、仏教の普及が、人々の価値観を変えて火葬が一般的になったように、時期的に重なるのでその影響ではないかと考えられる。それを示すように、8世紀には、ほとんど古墳が見つかっていないようだ。更に地域によっての共通点もあるのではないかと考え、地域や地形によって古墳の種類に差がないかも、調べてみることにした。→（研究2へ）

6. 研究2の進め方

①研究1で対象とした古墳全てがのった、東国文化副読本の群馬古墳マップ（62・63ページ）を印刷する。

②古墳の種類ごとに色を分けて印をつける。色別に分けたが、それぞれの色は図4に示す。

③駅路と川の線を記入する。（参照：東国文化副読本の27ページ・63ページ）

④図4を見て、古墳の形と地域や地形の関係性を探る。
↳最終ページに添付。

7. 研究2の結果

図4の古墳の分布と川、駅路の図を作ってみると、古墳が群馬県内の、南側に集中していて、逆に北の方はほとんどないことがわかった。全体を見るとやはり仮説通り川や駅路に沿った場所に古墳が作成されていることが分かる。一か所に同じ形の古墳ばかりが集まっていると断言できそうなところは少なかったが、前方後円墳は南部にしか発見されていないことが分かった。

8. 研究2の結果から考えたこと

川に近いところは、水が豊富で農作物を作る環境として適していて、集落がたくさんあった（取りまとめる有力者の力も強くなるだろうし、人手もあったのだろう）と推測できるので、駅路沿いには人の往来で、都からもいろいろな文化が入ってきやすく、栄えていたのではないだろうか。結果、川や駅路に沿った場所に古墳が密集していたということではないかと推測できる。では、北側に古墳が少ないのはな

ぜだろう。昔から高い山が多くて人が住みにくく、あまり人が開拓しなかった土地であるとともに、古墳作成には特に重い材料を運ぶ必要があるという点でも、作業効率が悪く、不向きだったからではないかと私は考える。また、研究1の結果と研究2の結果を比べてみると、オブ塚古墳と五代大日塚古墳のように、同じ時期に近い場所で、とても権力の強い人でないと作ることのできない前方後円墳が作られていたことに気がついた。王がたくさんいたということなのか、どうしてなのか疑問に思った。他にもこのようなところが見られたので、どんな共通点があるのか、今後の課題にしたいと思った。

9. まとめ

今回は、どうして古墳にたくさんの種類があるのだろうかという疑問から、研究を始め、作られた年と存在する場所を調べた。はっきりした結果は得られなかったことが多かったが、昔の人が作ったもの、考えたことが1500年の時を経て今私たちの身近にあり、ここまで研究が進んでいるというのは本当にすごいなと思った。今まで、あまり興味のなかった古墳だったが、研究をして、人類の歩みを知るための貴重な資料で大事な文化だということを再確認出来たし、見るポイントも少しわかってきたので、これからは私自身、古墳を見る楽しみが増えそうだ。

10. 文献

東国文化副読本 群馬県 2020年4月発行

<https://www.pref.gunma.jp/03/c4200140.html> (東国文化副読本 群馬県 2020版)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%89%8D%E6%96%B9%E5%BE%8C%E5%86%86%E5%A2%B3> (コトバンク 朝日新聞社)

<https://intojapanwaraku.com/travel/57870/> (雑誌 和楽 小学館)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/5%E4%B8%96%E7%B4%80%E6%97%A5%E6%9C%AC>
(Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/6%E4%B8%96%E7%B4%80%E6%97%A5%E6%9C%AC>
(Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/7%E4%B8%96%E7%B4%80%E6%97%A5%E6%9C%AC>
(Wikipedia)

古墳の形と作成時期(1/4)【添付資料1】

| 古墳の形 | 群属の古墳名称 | 作られたとされる時期 |
|-------|------------|------------|
| 前方後円墳 | (総社)二子山古墳 | 6世紀(後) |
| | (天川)二子山古墳 | 6世紀(後) |
| | 大鶴巻古墳 | 5世紀(前) |
| | 浅間山古墳 | 5世紀(前) |
| | 円福寺茶臼山古墳 | 5世紀 |
| | 鏡手塚古墳 | 6世紀(中) |
| | 高塚古墳 | 6世紀(前) |
| | 笹森古墳 | 7世紀(前) |
| | ニツ山古墳1・2号墳 | 6世紀(後) |
| | 西山古墳 | 6世紀(後) |
| | 鶴山古墳 | 5世紀(後) |
| | 朝子塚古墳 | 4世紀(後) |
| | オブ塚古墳 | 6世紀 |
| | 九十九山古墳 | 6世紀 |
| | 小屋敷古墳 | 7世紀 |
| | 今井神社古墳 | 5世紀 |
| | 王山古墳 | 6世紀 |
| | 不二山古墳 | 6世紀 |
| | 五代大日塚古墳 | 6世紀 |
| | 遠見山古墳 | 5世紀 |
| | 十二所古墳 | 不明 |
| | 丸塚山古墳 | 5世紀 |
| | 庚塚古墳 | 6世紀 |
| | 一ノ関古墳 | 6世紀 |
| | 赤堀茶臼山古墳 | 5世紀 |
| | 梨の木山古墳 | 5世紀 |
| | 浜尻天王山古墳 | 6世紀 |
| | 不動山古墳 | 6世紀 |
| | 八幡二子塚古墳 | 6世紀 |
| | 戸塚神社古墳 | 6世紀 |
| | 霊符殿古墳 | 6世紀 |
| | 諏訪古墳 | 6世紀 |
| | 太子堂塚古墳 | 6世紀 |
| | 堂山稲荷古墳 | 6世紀 |
| | 一ノ宮4号古墳 | 6世紀 |
| | 天王塚古墳 | 5世紀 |
| | 八幡山古墳 | 4世紀 |
| | 山王山古墳 | 6世紀 |

古墳の形と作成時期(2/4)【添付資料1】

| 古墳の形 | 群属の古墳名称 | 作られたとされる時期 | |
|--------|---------------------|------------|--------|
| 前方後円墳 | 高塚古墳 | 6世紀 | |
| | 綿貫観音山古墳 | 6世紀 | |
| | 観音塚古墳 | 6世紀 | |
| | 山王金冠塚古墳 | 6世紀 | |
| | 筑波山古墳 | 6世紀 | |
| | 船山古墳 | 6世紀 | |
| | 道明山古墳 | 6世紀 | |
| | 前橋天神山古墳 | 4世紀 | |
| | 白石稲荷山古墳 | 5世紀 | |
| | 太田天神山古墳 | 5世紀 | |
| | お富士山古墳 | 5世紀 | |
| | 保渡田古墳群 | 5世紀 | |
| | 築瀬二子塚古墳 | 6世紀 | |
| | 大室古墳群 | 6世紀 | |
| | 七輿山古墳 | 6世紀 | |
| | 前方後方墳 | 八幡山古墳 | 4世紀(前) |
| | | 將軍塚古墳 | 4世紀 |
| 寺山古墳 | | 4世紀 | |
| 帆立貝式古墳 | 女体山古墳 | 5世紀(中) | |
| | 塚廻り古墳群第4号古墳 | 6世紀 | |
| | 古海原前1号古墳 | 6世紀(前) | |
| | 亀塚山古墳 (上小埴稲荷山古墳) | 6世紀 | |
| 方墳 | 中塚古墳 | 7世紀(後) | |
| | 行人塚古墳 (鶯塚古墳) | 6世紀 7世紀 | |
| | 下芝谷ツ古墳 | 6世紀 | |
| | 喜蔵塚古墳 | 7世紀 | |
| | 巖穴山古墳 | 7世紀 | |
| | 大塚山古墳 | 不明 | |
| | 宝塔山古墳 | 7世紀 | |
| | 蛇穴山古墳 | 7世紀 | |
| 五角形墳 | 長者塚古墳 | 7世紀 | |
| 八角形墳 | (伊勢塚古墳) | 6世紀 | |
| | 三津屋古墳 | 7世紀 | |
| 横穴墓 | 小倉の穴薬師 | 7世紀 | |
| | 穴大黒 | 7世紀 | |
| | 頼母子横穴墓群 | 7世紀 | |

古墳の形と作成時期(3/4)【添付資料1】

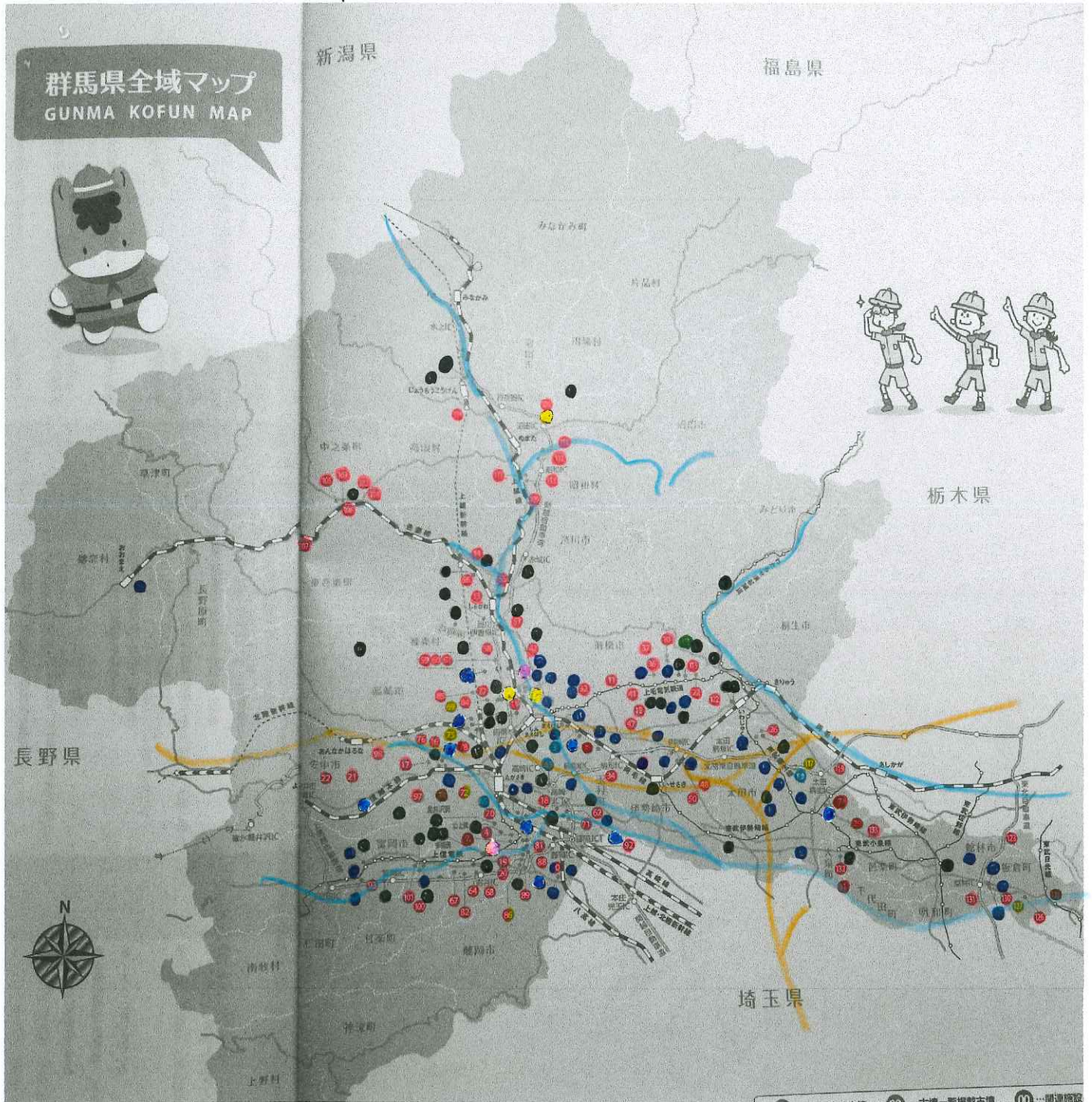
| 古墳の形 | 群馬の古墳名称 | 作られたとされる時期 |
|------|------------------------|------------|
| 円墳 | 山上古墳 | 7世紀(中) |
| | 壇塚古墳 | 6世紀(後) |
| | 堀越古墳 | 7世紀(後) |
| | 荒砥富士山古墳 | 7世紀(末) |
| | 虚空蔵塚古墳 | 6世紀(7世紀) |
| | 中ノ峯古墳 | 6世紀(中) |
| | しどめ塚古墳 | 7世紀 |
| | 若田大塚古墳・峯林古墳 ・楢ノ木塚古墳 | 7世紀 |
| | 安楽寺古墳 | 7世紀(後) |
| | 皇子塚古墳 | 6世紀(後) |
| | 平井地区1号古墳 | 6世紀(後) |
| | 後閑3号墳 | 6世紀(前) |
| | 下増田上田中1号墳 | 6世紀(前) |
| | 北山古墳 | 7世紀(後) |
| | 新田塚古墳 | 7世紀 |
| | 経塚古墳 | 7世紀 |
| | 新山古墳 | 7世紀 |
| | 白山古墳 | 8世紀 |
| | 稲荷塚古墳 | 不明 |
| | 塩原塚古墳 | 7世紀 |
| | 鶴巻古墳 | 6世紀 |
| | 雷電神社古墳 | 6世紀 |
| | いなり塚古墳 | 6世紀 |
| | 金井古墳 | 7世紀 |
| | 八幡塚古墳 | 7世紀 |
| | 滝沢古墳 | 7世紀 |
| | 南下A号古墳 | 7世紀 |
| | 南下B号古墳 | 7世紀 |
| | 南下古墳群 | 6から7世紀 |
| | 軍配山古墳 | 4世紀 |
| | 多胡薬劑塚古墳 | 7世紀 |
| | 三島塚古墳 | 5世紀 |
| | 恩行寺古墳 | 5世紀 |
| | 諏訪前古墳 | 7世紀 |
| | 桜塚古墳 | 不明 |
| | 八幡原A号及びB号石槨 | 5世紀 |
| | 鶯塚古墳 | 7世紀 |
| | 本郷塚中古墳群 | 6世紀 |
| | 愛宕山古墳 | 7世紀 |

古墳の形と作成時期(4/4)【添付資料1】

| 古墳の形 | 群馬の古墳名称 | 作られたとされる時期 |
|------|---------------------------|------------|
| 円墳 | 上小埜稲荷山古墳 | 6世紀 |
| | 山名古墳群 | 不明 |
| | 神保古墳群 | 6世紀 |
| | 足角寺屋敷古墳群 | 7世紀 |
| | お春名古墳 | 6世紀 |
| | 喜蔵塚古墳 | 7世紀 |
| | 平地神社古墳 | 6世紀 |
| | 堀越塚古墳 | 7世紀 |
| | (靈符殿古墳) | 6世紀 |
| | 胴塚稲荷古墳 | 不明 |
| | 北山茶臼山古墳 | 4世紀 |
| | 野殿天王塚古墳 | 7世紀 |
| | 万福原古墳 | 7世紀 |
| | 黒淵古墳群の塚 | 6世紀 |
| | 金比羅山古墳 | 6世紀 |
| | 樋塚古墳 | 6世紀 |
| | 小川古墳群 | 不明 |
| | 小塚古墳 | 不明 |
| | 笛吹塚古墳 | 不明 |
| | 石の塔古墳 | 5世紀 |
| | 四戸の古墳群 | 6世紀 |
| | 秋塚9号古墳 | 7世紀 |
| | 岩下清水古墳群 | 6世紀 |
| | 十日塚古墳 | 7世紀 |
| | 森下古墳群 | 7世紀 |
| | 八日市古墳群 | 7世紀 |
| | 鍛冶地古墳 | 7世紀 |
| | 塚原古墳群 | 6世紀 |
| | 小林の天神古墳 | 6世紀 |
| | 稲荷山古墳 | 6世紀 |
| | 天神山古墳群3号墳 | 6世紀 |
| | 赤城塚古墳 | 4世紀 |
| | 稲荷神社古墳 | 6世紀 |
| | 松ノ木古墳 | 6世紀 |
| | 江黒古墳 | 7世紀 |
| | 城之内古墳 | 7世紀 |
| | 松本古墳群 9・10・11・12・13号古墳 | 不明 |
| | 伊勢塚古墳 | 6世紀 |
| | 奈良古墳群 | 7世紀 |

前方後円墳: 53基 前方後方墳: 3基 帆立貝式古墳: 5基
 方墳: 9基 五角形墳: 1基 八角形墳: 2基
 横穴墓: 3基 円墳: 78基 計: 154基

【図4】 古墳の分布と川、駅路 1/4



- … 前方後円墳
- … 前方後方墳
- … 帆立貝式古墳
- … 円墳
- … 方墳
- … 五角形墳 ● … 八角形墳
- … 横穴墓
- … 関係のある施設

- … 川
- … 古代の駅路 (東国文化副読本 P27参照)